

日本頭蓋顎顔面外科学会 第21回学術講習会 開催後記

学術委員会委員長 今井啓道（東北大学形成外科）

今年は10年ぶりに「顎顔面外科医のための造形セミナー」を2025年11月22日に行いました。このセミナーは、自分や身近な人（参加者によっては有名人の写真を持ってきた人もいました）の顔を粘土で造形することで、顔の形態を深く理解することを目的としています、けっして粘土遊びではありません！？

人気のこのセミナーがなかなか開催できないのは会場が粘土で汚れてしまうためなのですが、今回は東京慈恵会医科大学形成外科の医局員の皆様が前日深夜までかけてブルーシートを床や壁全体に貼って頂くことで開催が可能になりました。準備して頂いた皆様、本当にありがとうございました。今回も申し込み開始直後から多数の応募を頂き、あっという間に定員の30名を超えてしまい応募を締め切らざるを得ませんでした。参加できなかった方、申し訳ありません。当日は3名のキャンセルが出て、27名の受講生が粘土と悪戦苦闘することになりました。

Faculty

[講師]

菅原康志（Anatomical Sculptor、
リラフェイシャルクリニック）

[コーディネーター（学術委員）]

宇田宏一（リラ・クラニオフィシャルクリニック）

[学術委員]（五十音順）

秋元正宇（日本医科大学 形成外科）

石田勝大（東京慈恵会医科大学 形成外科）

今井啓道（東北大学 形成外科）委員長

小山明彦（福島県立医科大学 形成外科）

常川主裕（信州大学 形成外科）

元村尚嗣（大阪公立大学 形成外科）

森下格（天神矯正歯科クリニック 矯正歯科）



菅原康志先生

1. ジャガイモを作ろう

本日の講師の菅原康志先生は普段は形成外科医としてご高名ですが、本日はAnatomical Sculptor（自称）としての登場です。さて、講義の開始です、あれあれ？壁に向かった席は余り人気が無いようです。中央の2人がけの机に皆さん座ってい

ます。そこで、菅原先生から「壁に向かった席が1等席ですよ、壁に写真を貼れるでしょ」の一言。このことを聞いて、皆さん壁に向かった席に移動します。皆さん真剣な眼差しです。

始めのお題は、持ってきたジャガイモを真似て粘土で作る。簡単そうでなかなかジャガイモそっくりに作ることは難しいです。皆さんジャガイモを穴が空くくらい眺めます、これまでこんなに真剣にジャガイモを見たことはないでしょう。菅原先生から四方八方からみて造形するように声がかかります。皆さんうまくできたでしょうか。



2. 顔を作ろう①

さて、次は本題の顔の彫刻に入ります。木の土台を組んでその上に粘土を付けて盛っていきます。まずはおおまかに形を作り、皆さん各々の方法で、持参した3方向の白黒顔写真を見ながら、顔を作っていきます。皆さん、さすが形成外科医！顔の解剖の知識が豊富で、細かいところも作り込んでいきます……。が、なかなか目指した顔になりません。ここでお昼となり、一旦休憩。頑張って作り込んだ彫刻が乾かない様に袋をかけて、昼食会場に向かいます。



3. 顔を作ろう②

お昼が終わって再開です。そこで菅原先生から

無情の一言

「作ったものを一旦潰して、一から作り直しましょう！」受講生の心の悲鳴が聞こえたような気がしました。

菅原先生より、細かい解剖を知りすぎてそれにこだわるより、おおまかな解剖的バランスを保つようにすることが大切。四方八方から眺めてバランスを整えるように、とのアドバイスがあり、再度作り始めます。すると、先ほどよりなんか良い感じにできてきます。

最後に目と口唇をどう作るか、菅原先生よりアドバ



イスがあります。解剖を考え、周囲とのアンギュレーションがどうなっているのか、正面のみではなく上から横から見て立体的に、と、確かにそうすると、さっきまで違和感があった目元・口元が自然になります。でもどうしても、年齢や男女といった要素が上手く反映出来ません。また、もっと格好良い人なのに、どうして?となっている受講もあります。そこで、菅原先生が一人一人をまわって手直ししていきます。するとあら不思議、すこし触っただけで劇的に彫刻の表情が良くなります、正にマジックハンド！午後の時間はあっという間に過ぎてしまいました。



最後に全員で作った彫刻を持って記念撮影。笑顔で講習会を終了しました。



さて、彫刻は重さ 3 kg の粘土を使っていますのでそれなりに重いです。持ち帰りのために今回は青いバケツを準備しました。バケツに頭部の彫刻を入れ皆さん帰路につきました。ちょっと、飛行機に無事に乗れたか心配です・・・
最後に、東京慈恵会医科大学の皆様の後片付けもお任せすることになってしまいました。本当に大変お世話になりました。御協力頂きありがとうございました。

来年は、歯科の先生とセファロを学ぼうという企画です。来年も振るってのご参加をお待ちしております。

学術委員会委員長 今井啓道